

AGRI WORK POINT

アグリ ワーク ポイント



果樹林産センター 信方浩志郎

結実管理対策

隔年結果は正のためにはなるべく早く強い摘果が必要です。着果量の多い樹の早期摘果方法として、樹冠上部摘果や枝別全摘果等があります。着果量の少ない樹は9月の後期摘果を主体とし、7月は被さり枝の除去を中心に管理します。

・樹冠上部摘果…樹上部1/3程度の果実を全て摘果し、発育枝の少ないベタ花樹では1/2を目安とします。

・枝別全摘果…目通り部で太さ3〜5cm程度の発育枝の発生している枝を全摘果し、着果させない枝を作ります。

・9月に仕上げ摘果を行います。

品質向上対策

フィガロン乳剤散布

根の活動を抑制し水分ストレスを与えます。果実の横径が平均3cm以上で二次落果が終了していることを確認してから行います。樹に大きな負担が掛かるので樹勢の低下している樹には散布を控えましょう。

- ・1回目…満開後70日(早生60日) 20000倍
- ・2回目…満開後90日(早生80日) 30000倍

マルチ被覆

マルチを被覆することで、水分の遮断による糖度上昇や反射光による着色促進などが見込めます。園地の状態に合わせて被覆時期や被覆方法を検討しましょう。過度な乾燥は樹にとって悪影響となるので、状況に応じてかん水も必要です。

・被覆時期…早生温州が7月中下旬

青島温州が8月上旬〜9月上旬

病害虫防除

黒点病の防除は累積降雨量250mmを基準に再防除を行い、まとまった雨が予想される場合はアピオンEといった固着剤も活用して予防に努めます。

《黒点病》

・ペンコゼブ水和剤5000倍(30日〜4回)

《アザミウマ類、ミカンサビダニ》

・コテツフロアブル 40000倍(前日〜2日)

・固着剤 アピオンE 10000倍